

国鉄「分割・民営化」反対！三里塚二期工事阻止！

10月大量出向粉碎！10・11三里塚へ！

9・22千葉転門前闘争大爆発

日刊
動労千葉

87. 9. 25

No. 2662

国鉄千葉動力車労働組合

千葉市要町二一八（動力車会館）
（鉄電）二九三五六（公衆）〇四七二二（七）七二〇七

全支部より青年部員110名が結集！

9月22日、青年部は、千葉運転区に一一〇名が結集して、強制出向粉碎／原職奪還にむけた門前闘争を実現した。8・5津田沼に続いて連月決起で運転区前を制圧し大勝利した。いよいよ総反撃だ／青年部先頭に10月闘争の大爆発をかちとろう！



鉄製の門にへばりつく当局を圧倒し、門前闘争を展開する青年部。青年部の気迫の前に当局はまさに無力であった。

千葉転前をデモで制圧

9月22日、千葉運転区前は、宣伝カーによる千葉市民への訴えと、青年部のデモで制圧された。「強制出向を許せるか」という怒りの前に、動員された60名の当局者どもは入口の門にへばりつくので精一杯であった。

午後6時すぎ、全支部より続々と青年部員が運転区前に集まり、シュプレヒコールを叩きつける一方、5階の乗務員詰所を中心に千転青年部が弾劾行動を展開する。

当局は無力であった。事前の弾圧・破壊に失敗し、この日も「さわぎが大きくならないように」するだけだった。ここに当局の弱点が示されている。今後ともこうした取り組みをくりかえし、実力で奪われた権利を取り戻そうではないか。

10月決戦大爆発を！

6時半すぎ、弁天町会館において団結集会を開催した。



9・22をもって10月強制出向粉碎の闘いに入った。千葉運転区前を青年部一一〇名の戦闘的デモで制圧し、当局に大ダメージを与えた。

最初に本部を代表して水野副委員長は「闘いが始まった。我々は、緒戦で勝利した。だから今当局は『動労千葉がストをやれないような出向をやる』と言っている。闘う方針のもとに団結を強め、スト権を武器に断固闘おう」と訴えた。受け入れ支部の永田千転支部長が続いて「青年部定期委員会以降、うちの青年部も元気が出てきた。職場では事故が続出し、不安と怒りがうずまいている。いよいよ決戦が迫っている。みんなが団結して闘いをつくっていきこう」と奮起をうながした。

杉本青年部長が基調提起を行った。「8・5津田沼交流会で8・9月出向を粉碎した。今日の闘いをもって10月強制出向を粉碎する闘いに入った。10月は決戦だ。10・11三里塚へ青年部5割動員を絶対勝ちとり、大会をけん引し、10・23天皇の沖繩反対に向け現地へ！この10月闘争の大爆発を実現させよう。同時に職場攻防戦／奪われた権利と職場を取り戻す闘いを鉄道労連解体の闘いと結合して闘おう」と方針をうちだした。

最後に、各支部の決意表明を行ったのち、運転区にむけデモに決起した。

分割・民営体制にするものぞ！この日の闘いは問題が何も解決していないことをうきほりにし、JR当局に大ダメージを与えた。

青年部は、9・22の大成功をさらに10月決戦に引き継ぐ先頭にたつ。団結してガンパロー！

全組合員・家族の強固な団結で組織破壊攻撃を粉碎せよ！